

活用事例

- 橋長 : 373.0m、幅員 : 8.5m
 - 橋梁形式 : 3径間連結PCプレテンT桁橋
2径間連結PCプレテンT桁橋
7径間連続PCポステン箱桁橋
 - 対象部位・部材 : 主桁、床版、防護柵、地覆
 - 性能カタログ(又はNETIS)番号
: BR020008-V0524
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

橋梁・支援技術

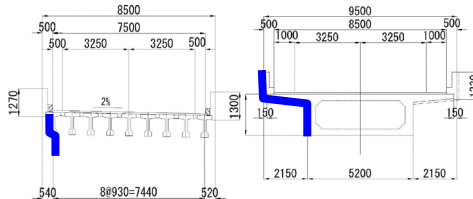


位置図及び断面図



断面図(1~5径間)

断面図(6~12径間)



■ : BLUE DOCTOR併用範囲

○点検支援技術の効果

- ・小型のため、運搬が容易。
- ・損傷状況を自動判定するので誰にでも定量的に判定できる。
- ・コンパクトなスティックタイプのため規制が不要で安全性に優れる。

○打音検査と同等と判断した理由

- ・自動ハンマによる打撃を与え、その反射波(弾性波)を検出することで、コンクリート内部の「うき」や「剥離」等の欠損部の有無を判定できる。
- ・結果をLED表示できるため視覚的に損傷を把握できる。

○使用時の留意事項

- ・点検員が桁下にアクセスできること。
- ・点検員が進入できないほどの水辺でないこと。



写真-1 点検状況(主桁)



写真-2 健全判定(LED緑)



写真-3 点検状況(地覆)

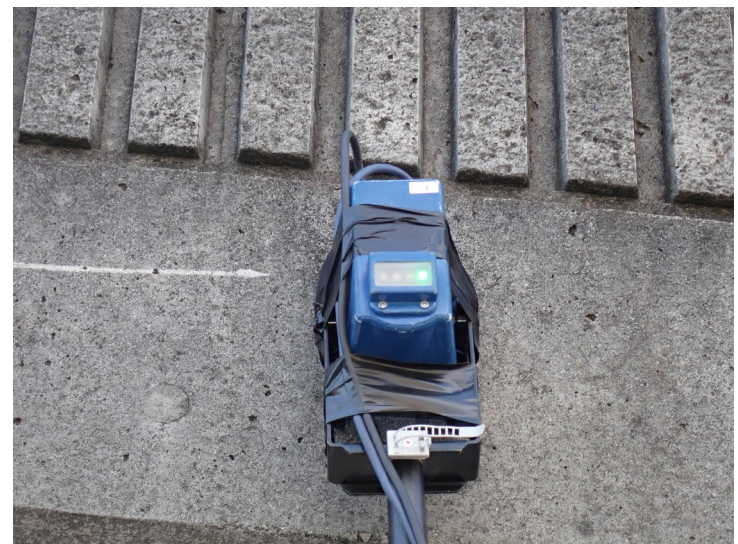
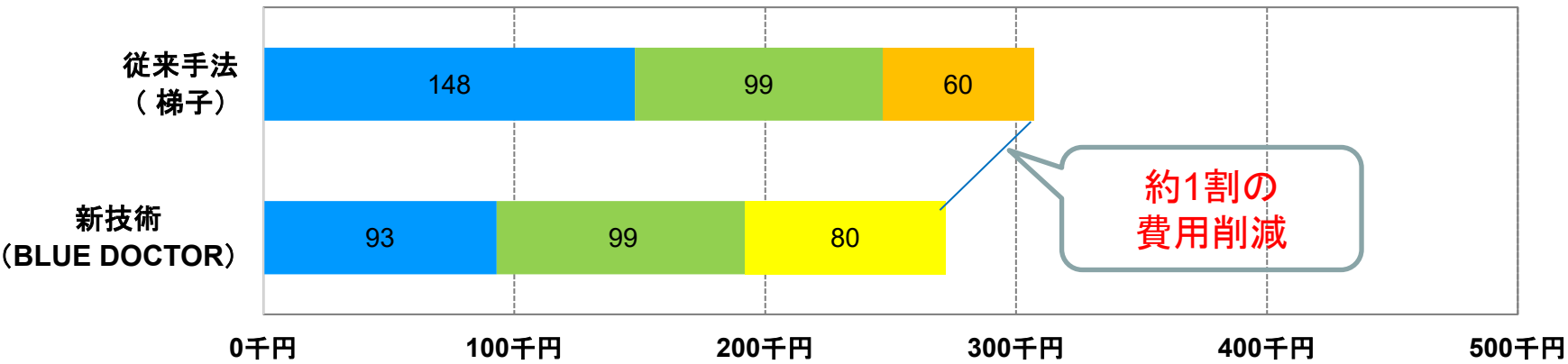


写真-4 健全判定(LED緑)

コスト比較

比較条件：上部工（側面）を第三者被害予防措置点検した場合のコスト比較。
評価：従来技術（梯子）と比べ、外業及び規制費のコストダウンに寄与。

■ 労務費(外業) ■ 労務費(内業) ■ 機械経費 ■ 安全費



項目	従来技術	点検支援技術
外業	点検ハンマによる打音検査	BLUE DOCTORによる現地調査
内業	点検調書の作成	点検調書の作成
比較対象	梯子	BLUE DOCTOR
合計金額	307千円	272千円
工程	3日	2日

○諸条件

点検面積：1,330m2
橋台高：4.5m（GL～桁下）
天 候：晴れ
対象部位・部材：主桁、床版、防護柵、地覆
進入路：有り
点検時間：9:00～17:00
たたき落とし作業：有
積 算：業者見積もり
前回の健全度：Ⅲ判定